

**2022年度**

**事業報告書**

一般財団法人

**広島県勤労者福祉推進協会**

## 財団法人広島県勤労者福祉推進協会

### 1. 設立趣意書

我が国経済は著しい成長を遂げ、国際的には経済大国として自負できる地位を築いています。

これは長期に亘り、国民一人一人が総力をあげて努力を重ねた結果であり、技術的な進歩は勿論、勤労者の旺盛な勤労意欲の賜物であると思います。しかし、国際的経済のアンバランスから円高による産業構造の変化や、雇用不安も惹起しつつあります。

一方、社会的には急速な高齢化時代を迎え、国や地方において新たな対応が必要とされることは勿論、個人的にも生涯設計の確立を期待しなければなりません。

このような情勢の中で、豊かでゆとりのある勤労者生活の実現を計るため、総合的かつ効果的な福祉対策事業を行う必要があると考えています。特に勤労者の資質向上のための自己啓発を促進する機会および健全な精神や体位向上を図るための対策をはじめ、又、福祉国家実現の根源となる青少年教育の充実にも寄与することとし、ここに財団法人広島県勤労者福祉推進協会を設立し、広島県下勤労者の福祉向上増進に役立てたいと思います。

### 2. 協会の沿革

#### (1) 平成元年 4月1日

広島市南区金屋町1番17号に財団法人広島県勤労者福祉推進協会として民法第34条の規定に基づいて、広島県知事の設立許可を受けて発足した。

#### (2) 平成2年 4月1日

寄附行為及び業務方法書の一部改訂により、監事の増員・副理事長の設置、共済掛金の引下げ等を実施した。

寄附行為 監事 2名 ⇒ 3名

理事長、常務理事 ⇒ 理事長、副理事長、常務理事

業務方法書 共済契約1口についての掛金 年80円⇒年70円

#### (3) 平成3年 10月1日

業務方法書の一部改訂により、共済契約口数の最高限度額の引上げで、保障の充実を図った。

家屋 225口 ⇒ 300口

家財 100口 ⇒ 150口

#### (4) 平成10年 4月1日

総合共済事業の県知事承認により、寄附行為の一部変更、業務方法書を火災共済事業規則に変更及び団体建物共済規則を包含並びに総合共済事業規則を新設した。

#### (5) 平成26年 1月31日

保険業法改正に伴い、特定保険業の認可を受けた。

#### (6) 平成26年 3月19日

公益法人制度改革関連3法に伴い、「一般財団法人広島県勤労者福祉推進協会」として移行認可を受けた。

#### (7) 平成26年 4月1日

「財団法人広島県勤労者福祉推進協会」を名称変更し、移行したことにより「一般財団法人広島県勤労者福祉推進協会」を設立 登記

# 安心づくりのパートナー 勤労者協会

この協会は、勤労者の生涯を通じた生活の安定、福利・厚生に関する総合的な福祉対策事業を効果的に行い、勤労者の福祉の増進に寄与するため、下記の事業を行います。

## 実施事業（公益事業）

- (1) 勤労者の子弟に対する奨学金の貸与事業
- (2) 勤労者の福祉向上に関する講演会事業
- (3) 勤労者の福祉向上に関する調査研究事業

## その他事業

- (1) 相互救済に関する事業
  - ① 福利・厚生
  - ② 研修会の開催
  - ③ その他、目的を達成するために必要な活動



## は　じ　め　に

この事業報告書は、一般財団法人広島県勤労者福祉推進協会の2022年度の事業期（2022年4月1日～2023年3月31日）における事業の推進結果について纏めたものです。

2022年度については、新型コロナウイルス感染症の収束目途がなかなか立たない中、前半は規制や制限も多くありましたが、後半は新型コロナウイルスへの対応の進展と人の移動といった経済活動に対する制限の緩和もあり、生活環境や経済状況が感染拡大前に戻りつつあった1年であったと考えます。

そのような状況下、協会においては試行錯誤と都度の判断を行いながらの対応となりましたが、事業推進研修会を全地区14会場で実施したことに加え、講演会の3年ぶり開催や理事会・評議員会・所長会議の面着実施、更には新たな取り組みである加入キャンペーンや新規団体加入オルグの実施など、期首の基本計画に基づいて積極的に活動を展開し、所期の目的を果たすことができました。

特に、理事・評議員の協力を得ながら取り組んだ新規団体の加入オルグにおいては、新たに5団体（72名）が総合共済や火災共済の団体一括にご加入いただいております、目に見える形で成果を上げることができました。

また、福利厚生の一環として実施している行事補助や契約保養所利用補助については、団体や加入者の利用が増加傾向にあり、昨年比で約2倍の補助金交付となりました。

他方、経営面においては、加入口数の減少に歯止めが掛からない状況にありますが、大きな自然災害もなく穏やかな1年となり、火災共済給付も全焼1件、一部壊73件（前年度：全焼3件、一部壊115件）と前年度に比べて大幅に減少したことや、実施事業の奨学貸与金戻り収入が順調に推移していることなどにより、協会全体として安定した収支となりました。

2023年度については、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが2類相当から5類に移行されたことから、ウイズコロナ・アフターコロナにおける活動のあり方も模索しながら、新規団体の加入オルグを始めとする加入促進活動や各種取り組みを積極的に展開するとともに、本部・各支所が連携して事業の維持・発展に努めていきますので、尚一層のご理解とご協力をお願いします。

# 2022 年度 各事業の推進結果

## 実施事業

### 【奨学金貸与事業】

奨学金貸与事業の新規貸与は中止しており、2019 年度に貸与開始となった 13 名の方に継続して貸付を行いました。なお貸与については、2022 年度で全て完了しました。

一方、貸与期間が終了した返済者の総数は 238 名であり、それぞれから月々の割賦返済を受けました。

[奨学金貸与と返済の内訳表]

貸与開始年度	2022 年度中の 奨学金貸与状況		2022 年度中 の返済者数
	人数	金額(円)	人数
2004 年度			1
2007 年度			1
2008 年度			2
2010 年度			16
2011 年度			22
2012 年度			21
2013 年度			24
2014 年度			27
2015 年度			27
2016 年度			31
2017 年度			19
2018 年度			30
2019 年度	13	4,500,000	17

貸与及び返済合計	貸与人数	奨学金貸与合計額	返済人数	返済金合計額
	13 名	4,500,000 円	238 名	42,125,000 円

### 【講演会事業】

2022 年度の講演会は、渡部陽一氏を招請し、「世界からのメッセージ ～平和と命の大切さ～」と題して、新型コロナウイルス感染症の感染状況も考慮し、規模を縮小して開催しました。

3 年ぶりの開催となったこの度の講演会は、三原地区を中心とする加入団体の協力や協会ホームページでの告知に加え、新規の加入オグ先である協会未加入団体への案内なども行った結果、コロナ禍ではありましたが 230 名の方に聴講していただき、成功裏に終えることができました。

### 【福祉向上に関する調査研究事業】

今年度も調査研究テーマを模索することとし検討期間としましたので、特に取り組みはありません。

## その他事業（相互救済事業）

勤労者の相互救済および互助を目的に2つの共済事業を行っており、2022年度の加入および共済金支払い実績は次の通りです。

### 【火災共済】

(2023.03.31 現在)

加入状況	加入団体	258 団体	前年度比	8 団体減
	加入者数	28,945 名	前年度比	1,091 名減
	加入口数	3,558,751 口	前年度比	100,857 口減
給付状況	件 数	447 件	前年	489 件
	共済金額	43,756,150 円	前年	108,937,700 円

(給付状況内訳)

火災共済金			付加共済金		
項 目	件数	金 額 (円)	項 目	件数	金 額 (円)
全 焼	1	8,050,000	全 壊	0	0
半 焼	0	0	半 壊	0	0
一 部 焼	3	5,114,600	一 部 壊	83	8,971,100
消 防 冠 水	0	0	床 上 浸 水	0	0
落 雷	5	954,300	車 両 の 飛 込 み	0	0
ガ ス 爆 発	0	0	死 亡 弔 慰 金	333	17,286,750
団 体 建 物	0	0	物 置 全 半 焼	0	0
			風 呂 空 焚 き	0	0
			水 道 管 破 裂	13	820,000
			水 漏 れ 損 害	9	2,559,400
			失 火 見 舞 金	0	0
			同 居 家 族 死 亡	0	0
合 計	9	14,118,900	合 計	438	29,637,250

### 【総合共済】

(2023.03.31 現在)

加入状況	加入団体	126 団体	前年度比	5 団体増
	加入者数	5,759 名	前年度比	69 名減
	加入口数	13,894 口	前年度比	191 口減
給付状況	件 数	1,076 件	前年度	1,276 件
	共済金額	13,269,000 円	前年度	16,459,000 円

(給付金内訳)

共済事由	件数	前年同期件数	共済金支払額
死亡弔慰金	223	242	3,275,000
障害見舞金	0	0	0
傷病見舞金	104	107	2,322,000
結婚祝金	62	72	1,160,000
出産祝金	92	128	711,000
新入学祝金	135	123	642,000
成人祝金	48	65	339,000
退職餞別金	262	426	3,245,000
脱退餞別金	119	74	1,235,000
銀婚祝金	31	39	340,000
合計	1,076	1,276	13,269,000

【事業推進研修会】

2022年度については、懇親会（第2部）を取り止めたうえで、制度改訂の説明や加入促進に向けたPR・協力要請などを中心とした研修内容とし、全地区（14会場）で開催することができました。

地区	開催日	開催場所	参加者数
大竹	2022年6月29日（水）	アゼリアおおたけ	9
広島1	2022年6月16日（木）	ワークピア広島	26
広島2	2022年7月1日（金）	広島ダイヤモンドホテル	22
呉	2022年7月2日（土）	シシンヨーオークアリーナ	37
竹原	2022年7月6日（水）	グリーンスカイホテル竹原	2
東広島	2022年7月15日（金）	芸術文化ホールくらら	8
三原	2022年6月9日（木）	三原国際ホテル	34
府中	2022年6月16日（木）	府中商工会議所	19
庄原	2022年6月23日（木）	ヤマモトロックマシン労組事務所	6
三次	2022年7月9日（土）	電光石火みよしパーク	3
尾道	2022年7月4日（月）	グリーンヒルホテル尾道	21
福山	2022年7月8日（金）	福山労働会館みやび	15
瀬戸田	2022年6月7日（火）	沢クラブ	9
因島	2022年6月15日（水）	ナティーク城山	27
出席者総数			238人 <実績>

【福利厚生】

勤労者の健康と体力維持を目的とした活動や、心身のリフレッシュのための一助としていただくため、補助制度を設けて申請に対し、補助金を交付しています。

### \*行事に対する補助金

各加入団体において行事を実施する場合、事前申請手続きにより加入者規模（内規による）に応じて補助金の交付をしており、その実績は次の通りです。

年度	件数	金額
2022 年度	21 件	397,000 円
2021 年度	12 件	194,000 円

### \*契約保養所利用補助金

勤労者が保養を目的に協会が保養所利用契約をしている宿泊施設に、利用前にこの協会に所定の手続きをした上で、勤労者およびその家族が宿泊利用した場合、大人 2,000 円/人、子供 1,000 円/人の利用補助金を交付しており、その実績は次の通りです。

年度	件数	大人（名）	子供（名）	合計（名）	金額
2022 年度	134 件	260	4	264	524,000 円
2021 年度	79 件	160	3	163	323,000 円

### 普通共済保険約款（共済保険期間）一部改訂について

勤労者協会の火災共済・総合共済保険にご加入頂いている団体・個人の満期日については、各月 1 日付け以外の契約が全体の約 43%（団体加入：約 32%、個人加入：約 51%）を占めており、保険料の収納・フォローや満期の更新手続きなど、協会内の事務処理が煩雑となっています。

また、協会内部においては、慢性的なマンパワー不足により高負荷な状況が継続しており、更なる業務の効率化に努める必要があります。

ついては、火災共済保険の新規加入や満期更新のタイミングで満期日を 1 日付けに合わせるため、普通共済保険約款を一部改訂し、1 年をこえる共済保険期間を新設します。

なお、普通共済保険約款の一部改訂に伴い、事業管理システムの改修が必要となることから、実施は令和 6 年 4 月 1 日とします。

### 総合共済事業規則（事業・共済金）一部改訂について

総合共済事業の給付事由である傷病休業については、被共済者の傷病による 14 日以上の休業に対して共済金の支払いを行っていますが、同業他社や世間同行等も踏まえた見直しが必要であると考えていることに加え、休業日数の短縮に関する要望を複数の加入団体から頂いています。

よって、傷病休業の日数（14 日以上→7 日以上へ見直し）と傷病見舞金の規則（休業 7 日以上/2,000 円を新設）を一部改訂し、給付内容の充実を図ります。

# 2022 年度財務報告

勤労者協会は、一般財団法人移行を契機として、実施事業会計（従来からの継続した事業である奨学金貸与事業・講演会事業・調査研究事業）とその他事業会計（火災共済会計・総合共済会計）、および法人会計（法人会計・設立記念事業会計）の5つの会計に区分経理し、該当するそれぞれの会計にて収支の計上をしています。

2022 年度の財務状況は次の通りです。

## 「貸借対照表内訳表」

### （1）実施事業会計

資産の部については、流動資産合計が 19,026,358 円、固定資産のうち奨学金の貸与総額が 164,940,000 円となり、資産合計は 183,966,358 円となりました。なお、負債および正味財産合計は流動負債、固定負債がないことから 183,966,358 円となりました。

### （2）その他事業会計（火災共済事業）

資産の部については、流動資産合計が 481,634,087 円、固定資産のうち異常危険準備積立預金が 1,049,153,924 円、システム維持管理預金が 11,400,000 円となり、その他固定資産を含めた資産合計は 1,542,710,083 円となりました。

負債の部では、流動負債と異常危険準備金、システム維持管理引当金等の固定負債を含めた負債合計が 1,209,492,777 円となり、負債および正味財産合計は 1,542,710,083 円となりました。

### （3）その他事業会計（総合共済事業）

資産の部については、流動資産合計が 17,959,048 円、固定資産のうち異常危険準備積立預金が 26,824,526 円となり、資産合計は 44,783,574 円となりました。

負債の部では、流動負債と固定負債の合計が 30,096,626 円となり、負債および正味財産の合計額は 44,783,574 円となりました。

### （4）法人会計（法人会計）

資産の部については、流動資産合計が 7,529,910 円、固定資産のうち基本財産引当預金が 30,000,000 円、退職慰労引当預金が 10,154,500 円、退職給付引当預金が 12,206,379 円となり、その他固定資産を含めた資産合計は 73,030,689 円となりました。

負債の部では、流動負債がないことから固定負債のみの 22,360,879 円となりました。

正味財産の部では、指定正味財産が 30,000,000 円、一般正味財産が 20,669,810 円となり、負債および正味財産の合計額は 73,030,689 円となりました。

### （5）法人会計（設立記念事業）

資産の部については、流動資産のみで合計 6,930,042 円となり、負債の部が 0 円のため、負債及び正味財産合計は 6,930,042 円となりました。

## 「正味財産増減計算書内訳表」

### （1）実施事業会計

一般正味財産増減の部では、経常収益が資産運用益の 226 円のみとなりました。経常費用は奨学金事業費が 133,430 円、講演会事業費が 2,075,514 円、事業管理費が 12,670,202 円で、合計 14,879,146 円となり、当期経常増減額は-14,878,920 円となりました。

経常外増減の部では、他会計振替（火災共済事業）を 10,000,000 円したこと、当期一般正味財産増減額は-24,878,920 円となり、一般正味財産期末残高および正味財産期末残高は 183,966,358 円となりました。

## (2) その他事業会計（火災共済事業）

一般正味財産増減の部では、共済掛金の 243,594,683 円に運用益を加えた経常収益計は 244,595,283 円となりました。

経常費用については、火災共済事業費が 81,006,364 円、事業管理費が 112,844,412 円となったことから、経常費用計は 193,850,776 円となり、当期経常増減額は 50,744,507 円となりました。

経常外増減の部では、他会計（法人会計・記念事業会計）へ 6,000,000 円の振替を行った一方で、実施事業会計から 10,000,000 円振替えたため、他会計振替額は 4,000,000 円となりました。当期一般正味財産増減額は 51,044,507 円となり、一般正味財産期末残高および正味財産期末残高は 333,217,306 円となりました。

## (3) その他事業会計（総合共済事業）

一般正味財産増減の部では、共済掛金の 16,754,900 円に運用益を加えた経常収益計は 16,755,837 円となりました。

経常費用については、総合共済事業費が 13,375,680 円、事業管理費が 3,106,605 円となったことから、経常費用計は 16,482,285 円となり、当期経常増減額は 273,552 円となりました。

経常外増減の部では、当期一般正味財産増減額は 273,552 円となり、一般正味財産期末残高および正味財産期末残高は 14,686,948 円となりました。

## (4) 法人会計（法人会計）

一般正味財産増減の部では、運用益等の経常収益計が 129,010 円、経常費用の法人管理費が 12,526,623 円となり、当期経常増減額は -12,397,613 円となりました。

経常外増減の部では、退職慰労引当預金取崩額により経常外収益計が 11,151,420 円となりました。また、経常外費用は、退職慰労引当預金に 3,485,000 円、退職給付引当預金に 577,900 円を繰入れたことから、当期の経常外増減額は 7,088,520 円となりました。

当期一般正味財産増減額は他会計（火災共済事業）から 4,000,000 円の振替を行ったことから、-1,309,093 円となり、一般正味財産期末残高の 20,669,810 円に指定正味財産の 30,000,000 円を加えた正味財産期末残高は 50,669,810 円となりました。

## (5) 法人会計（設立記念事業）

一般正味財産増減の部では、資産運用益の 40 円のみで経常費用はなかったことから、当期経常増減額は 40 円となりました。

経常外増減の部では、他会計からの振替（火災共済事業）2,000,000 円を加えた当期一般正味財産増減額が 6,930,042 円となり、一般正味財産期末残高および正味財産期末残高は 6,930,042 円となりました。

以下、各会計の財務諸表を掲載します。

# 貸借対照表内訳表

2023年 3月31日現在

(単位：円)

科 目	実施事業会計	その他事業会計		法人会計		合 計
	実施事業	火災共済事業	総合共済事業	法人会計	設立記念事業	
I 資産の部						
1. 流動資産						
現金預金	18,991,678	479,338,361	17,959,048	7,529,910	6,930,042	530,749,039
仮払金	34,680	2,295,726	0	0	0	2,330,406
流動資産合計	19,026,358	481,634,087	17,959,048	7,529,910	6,930,042	533,079,445
2. 固定資産						
(1) 基本財産						
基本財産引当預金	0	0	0	30,000,000	0	30,000,000
基本財産合計	0	0	0	30,000,000	0	30,000,000
(2) 特定資産						
異常危険準備積立預金	0	1,049,153,924	26,824,526	0	0	1,075,978,450
退職慰労引当預金	0	0	0	10,154,500	0	10,154,500
退職給付引当預金	0	0	0	12,206,379	0	12,206,379
システム維持管理預金	0	11,400,000	0	0	0	11,400,000
特定資産合計	0	1,060,553,924	26,824,526	22,360,879	0	1,109,739,329
(3) その他固定資産						
ハードウェア	0	522,072	0	0	0	522,072
出資金	0	0	0	8,100,000	0	8,100,000
奨学賞与金	164,940,000	0	0	0	0	164,940,000
保証金	0	0	0	5,039,900	0	5,039,900
その他固定資産合計	164,940,000	522,072	0	13,139,900	0	178,601,972
固定資産合計	164,940,000	1,061,075,996	26,824,526	65,500,779	0	1,318,341,301
資産合計	183,966,358	1,542,710,083	44,783,574	73,030,689	6,930,042	1,851,420,746
II 負債の部						
1. 流動負債						
未払金	0	25,100,719	0	0	0	25,100,719
仮受金	0	4,972,301	0	0	0	4,972,301
預り金	0	422,359	0	0	0	422,359
未経過共済掛金	0	112,210,964	3,272,100	0	0	115,483,064
賞与給付引当金	0	6,232,510	0	0	0	6,232,510
流動負債合計	0	148,938,853	3,272,100	0	0	152,210,953
2. 固定負債						
異常危険準備金	0	1,049,153,924	26,824,526	0	0	1,075,978,450
退職慰労引当金	0	0	0	10,154,500	0	10,154,500
退職給付引当金	0	0	0	12,206,379	0	12,206,379
システム維持管理引当金	0	11,400,000	0	0	0	11,400,000
固定負債合計	0	1,060,553,924	26,824,526	22,360,879	0	1,109,739,329
負債合計	0	1,209,492,777	30,096,626	22,360,879	0	1,261,950,282
III 正味財産の部						
1. 指定正味財産						
指定正味財産合計	0	0	0	30,000,000	0	30,000,000
(うち基本財産への充当額)	0	0	0	30,000,000	0	30,000,000
2. 一般正味財産	183,966,358	333,217,306	14,686,948	20,669,810	6,930,042	559,470,464
正味財産合計	183,966,358	333,217,306	14,686,948	50,669,810	6,930,042	589,470,464
負債及び正味財産合計	183,966,358	1,542,710,083	44,783,574	73,030,689	6,930,042	1,851,420,746

# 正味財産増減計算書内訳表

2022年 4月 1日から 2023年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	実施事業会計		その他事業会計		法人会計		合 計
	実施事業	火災共済事業	総合共済事業	法人会計	設立記念事業		
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
基本財産運用益	0	0	0	1,186	0	1,186	
基本財産受取利息	0	0	0	1,186	0	1,186	
共済事業益	0	243,594,683	16,754,900	0	0	260,349,583	
共済掛金	0	243,594,683	16,754,900	0	0	260,349,583	
資産運用益	226	4,640	138	62	40	5,106	
資産運用益	226	4,640	138	62	40	5,106	
特定資産運用益	0	995,960	799	127,581	0	1,124,340	
特定資産受取利息	0	995,960	799	253	0	997,012	
特定資産配当金	0	0	0	127,328	0	127,328	
雑収益	0	0	0	181	0	181	
雑収益	0	0	0	181	0	181	
経常収益計	226	244,595,283	16,755,837	129,010	40	261,480,396	
(2) 経常費用							
事業費	2,208,944	81,006,364	13,375,680	0	0	96,590,988	
火災共済事業費	0	81,006,364	0	0	0	81,006,364	
解約返戻費	0	1,534,549	0	0	0	1,534,549	
業務委託費	0	25,113,935	0	0	0	25,113,935	
事業広報費	0	366,400	0	0	0	366,400	
火災共済金	0	14,118,900	0	0	0	14,118,900	
死亡弔慰金	0	17,286,750	0	0	0	17,286,750	
付加共済金	0	12,350,500	0	0	0	12,350,500	
雑費	0	1,235,680	0	0	0	1,235,680	
事業拡大対策費	0	7,341,455	0	0	0	7,341,455	
事業印刷費	0	1,658,195	0	0	0	1,658,195	
奨学金事業費	133,430	0	0	0	0	133,430	
雑費	133,430	0	0	0	0	133,430	
講演会事業費	2,075,514	0	0	0	0	2,075,514	
旅費交通費	231,260	0	0	0	0	231,260	
印刷製本費	66,000	0	0	0	0	66,000	
賃借料	58,110	0	0	0	0	58,110	
講演料	1,501,500	0	0	0	0	1,501,500	
雑費	218,644	0	0	0	0	218,644	
総合共済事業費	0	0	13,375,680	0	0	13,375,680	
死亡弔慰金	0	0	3,275,000	0	0	3,275,000	
傷病見舞金	0	0	2,322,000	0	0	2,322,000	
結婚祝金	0	0	1,160,000	0	0	1,160,000	
出産祝金	0	0	711,000	0	0	711,000	
新入学祝金	0	0	642,000	0	0	642,000	
成人祝金	0	0	339,000	0	0	339,000	
退職者餞別金	0	0	3,245,000	0	0	3,245,000	
銀婚祝金	0	0	340,000	0	0	340,000	
脱退餞別金	0	0	1,235,000	0	0	1,235,000	
解約返戻費	0	0	92,200	0	0	92,200	
雑費	0	0	14,480	0	0	14,480	
事業管理費	12,670,202	112,844,412	3,106,605	0	0	128,621,219	
役員報酬	0	18,114,083	0	0	0	18,114,083	
給料手当	7,183,536	42,109,621	2,119,007	0	0	51,412,164	
福利厚生費	1,197,955	8,405,510	521,960	0	0	10,125,425	
賞与給付金	0	4,974,600	0	0	0	4,974,600	
会議費	24,379	1,103,249	7,500	0	0	1,135,128	
旅費交通費	9,080	1,954,577	17,240	0	0	1,980,897	

通信運搬費	516,916	3,118,671	0	0	0	3,635,587
電算事務費	2,000,000	15,017,930	177,650	0	0	17,195,580
事務機賃借料	20,600	3,159,024	15,950	0	0	3,195,574
物品消耗品費	33,734	1,635,303	16,550	0	0	1,685,587
修繕費	0	60,050	0	0	0	60,050
印刷製本費	2,750	761,310	39,050	0	0	803,110
光熱水道費	5,968	813,519	0	0	0	819,487
事務所賃借料	1,139,000	7,164,856	175,450	0	0	8,479,306
諸謝金	0	27,500	0	0	0	27,500
車輛維持費	535,324	3,355,252	12,423	0	0	3,902,999
ハードウェア償却費	0	522,072	0	0	0	522,072
渉外費	0	197,816	0	0	0	197,816
会費	0	75,000	0	0	0	75,000
雑費	960	274,469	3,825	0	0	279,254
法人管理費	0	0	0	12,526,623	0	12,526,623
退職慰労金	0	0	0	11,151,420	0	11,151,420
旅費交通費	0	0	0	13,280	0	13,280
通信運搬費	0	0	0	35,929	0	35,929
事務機賃借料	0	0	0	40,719	0	40,719
修繕費	0	0	0	1,200,000	0	1,200,000
租税公課	0	0	0	71,000	0	71,000
雑費	0	0	0	14,275	0	14,275
経常費用計	14,879,146	193,850,776	16,482,285	12,526,623	0	237,738,830
評価損益等調整前当期経常増減額	-14,878,920	50,744,507	273,552	-12,397,613	40	23,741,566
評価損益等計	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	-14,878,920	50,744,507	273,552	-12,397,613	40	23,741,566
2. 経常外増減の部						
(1) 経常外収益						
退職慰労引当預金取崩額	0	0	0	11,151,420	0	11,151,420
経常外収益計	0	0	0	11,151,420	0	11,151,420
(2) 経常外費用						
退職慰労引当預金繰入額	0	0	0	3,485,000	0	3,485,000
退職給付引当預金繰入額	0	0	0	577,900	0	577,900
システム維持管理預金繰入額	0	3,700,000	0	0	0	3,700,000
経常外費用計	0	3,700,000	0	4,062,900	0	7,762,900
当期経常外増減額	0	-3,700,000	0	7,088,520	0	3,388,520
他会計振替前当期一般正味財産増減額	-14,878,920	47,044,507	273,552	-5,309,093	40	27,130,086
他会計振替額	-10,000,000	4,000,000	0	4,000,000	2,000,000	0
当期一般正味財産増減額	-24,878,920	51,044,507	273,552	-1,309,093	2,000,040	27,130,086
一般正味財産期首残高	208,845,278	282,172,799	14,413,396	21,978,903	4,930,002	532,340,378
一般正味財産期末残高	183,966,358	333,217,306	14,686,948	20,669,810	6,930,042	559,470,464
II 指定正味財産増減の部						0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	30,000,000	0	30,000,000
指定正味財産期末残高	0	0	0	30,000,000	0	30,000,000
III 正味財産期末残高	183,966,358	333,217,306	14,686,948	50,669,810	6,930,042	589,470,464

# 2022 年度会議開催の概要

## [理事会]

回数	開催期日	主な議題
第1回	2022. 5. 9 (決議の省略)	1号議案 2021 年度決算・監査に関する件 2号議案 2022 年度予算(案)に関する件 3号議案 公益目的支出計画実施報告書等提出書類確認の件 4号議案 「認可特定保険業業務報告書」提出書類確認の件
第2回	2022. 5. 27	1号議案 2022・2023 年度理事長・副理事長選出に係わる件 2号議案 退職慰労金支給に関する件 3号議案 2022 年度「事業推進研修会」実施の件 4号議案 次回理事会・評議員会開催について
第3回	2022. 9. 29	1号議案 職員採用に関する件 2号議案 業務車両(リース車)更新に関する件 3号議案 次回理事会・評議員会開催について
第4回	2023. 1. 31 (決議の省略)	1号議案 次回理事会・評議員会開催に関する件
第5回	2023. 3. 23	1号議案 2022 年度決算見直しに関する件 2号議案 普通共済保険約款(共済保険期間)一部改訂の件 3号議案 総合共済事業規則(事業・共済金)一部改訂の件 4号議案 慶弔見舞金規程(見舞金)一部改訂の件 5号議案 旅費規程一部改訂の件 6号議案 「事業推進会議」設置の件 7号議案 2023 年度事務局体制及び組織体制に関する件 8号議案 2023 年度職員・所長の給与等に関する件 9号議案 2023 年度事業計画概要の件 10号議案 2023 年度予算(案)に関する件 11号議案 2023 年度「講演会事業」の取り組みに関する件 12号議案 2023 年度「加入キャンペーン(第2弾)」実施の件 13号議案 2023 年度第1回理事会開催について

## [評議員会]

回数	開催期日	主な議題
第1回	2022. 5. 27	1号議案 任期満了に伴う次期役員及び評議員選出に関する件 (含む第1・2回役員及び評議員推薦委員会報告) 2号議案 2021 年度決算・監査に関する件 3号議案 公益目的支出計画実施報告書等提出書類確認の件 4号議案 「認可特定保険業業務報告書」提出書類確認の件 5号議案 2022 年度予算(案)に関する件 6号議案 退職慰労金に関する件 7号議案 2022 年度「事業推進研修会」実施の件 8号議案 2022 年度「講演会事業」の取り組みに関する件 9号議案 次回理事会・評議員会開催について

第2回	2022. 9.29	1号議案 職員採用に関する件 2号議案 業務車両（リース車）更新に関する件 3号議案 次回理事会・評議員会開催について
第3回	2023. 1.31 (決議の省略)	1号議案 次回評議員会・理事会開催に関する件
第4回	2023. 3.23	1号議案 2022年度決算見直しに関する件 2号議案 普通共済保険約款（共済保険期間）一部改訂の件 3号議案 総合共済事業規則（事業・共済金）一部改訂の件 4号議案 慶弔見舞金規程（見舞金）一部改訂の件 5号議案 旅費規程一部改訂の件 6号議案 「事業推進会議」設置の件 7号議案 2023年度事務局体制及び組織体制に関する件 8号議案 2023年度職員・所長の給与等に関する件 9号議案 2023年度事業計画概要の件 10号議案 2023年度予算（案）に関する件 11号議案 2023年度「講演会事業」の取り組みに関する件 12号議案 2023年度「加入キャンペーン（第2弾）」実施の件 13号議案 2023年度第1回評議員会、第1・2回理事会開催について

## [所長会議]

回数	開催期日	主な議題
第1回	2022. 4.26	1. 2022年度「第1回理事会」議案（決議の省略）について 2. 2022年度加入促進活動計画について 3. 2022年度「事業推進研修会」開催について 4. 次回所長会議開催日程について
第2回	2022. 5.27	1. 2022年度「第2回理事会」議案について 2. 2022年度「事業推進研修会」開催について 3. 2022年度「講演会事業」の取り組みについて 4. 次回所長会議開催日程について
第3回	2022. 6.17	1. 2022年度「加入促進活動計画」進捗状況について 2. 2022年度「事業推進研修会」進捗状況について 3. 次回所長会議開催日程について
第4回	2022. 7.14	1. 火災共済・総合共済の満期日見直しについて（継続審議） 2. 第1回事業推進会議（2022.9.29）について 3. 次回所長会議開催日程について
第5回	2022. 8.19	1. 火災共済・総合共済の満期日見直しについて（継続審議） 2. 2022年度「渡部陽一講演会」当日運用について 3. 契約保養所調査補助取扱いについて 4. 次回所長会議開催日程について
第6回	2022. 9.15	1. 火災共済・総合共済の満期日見直しの件 2. 第1回事業推進会議の件 3. 第3回理事会議案の件 4. （中間フォロー）2022年度各事業実施状況と課題について 5. 2022年度「渡部陽一氏」講演会について 6. 次回所長会議開催日程について
第7回	2022.10.21	1. 2023年度協会年間カレンダーについて 2. 次回所長会議開催日程について

第 8 回	2022.11.18	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. アルコールチェック運用について</li> <li>2. 一日友愛同盟について</li> <li>3. 火災共済満期通知の改定について</li> <li>4. 保面料・掛金に関する領収書の発行について</li> <li>5. 次回所長会議開催日程について</li> </ol>
第 9 回	2022.12.16	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 普通共済保険約款（共済保険期間）一部改訂の件</li> <li>2. 総合共済事業規則（事業・共済金）一部改訂の件</li> <li>3. 慶弔見舞金規程（見舞金）一部改訂の件</li> <li>4. 年末年始の対応について</li> <li>5. 新年挨拶回りについて</li> <li>6. 次回所長会議開催日程について</li> </ol>
第 10 回	2023. 1.20	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「第 4 回理事会・第 3 回評議員会」議案について</li> <li>2. 2023 年度活動計画（案）について <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 2023 年度「講演会事業」の取り組みに関する件</li> <li>(2) 2023 年度「加入キャンペーン（第 2 弾）」実施について</li> </ol> </li> <li>3. 組織・財政のあり方および業務に関する見直しについて（継続審議）</li> <li>4. 旅費規程一部改訂の件</li> <li>5. 次回所長会議開催日程について</li> </ol>
第 11 回	2023. 2.17	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保険料・掛金に関する領収書の発行について</li> <li>2. 加入促進活動「マツダスタジアム年間指定席購入」について</li> <li>3. 組織・財政のあり方および業務・事業の見直しに関する質問・意見要望について</li> <li>4. 旅費規程一部改訂の件</li> <li>5. 次回所長会議日程について</li> </ol>
第 12 回	2023. 3.18	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「第 5 回理事会・第 4 回評議員会」議案について</li> <li>2. 2022 年度加入促進活動計画フォローと 2023 年度加入促進活動計画について</li> <li>3. 各種団体諸行事への出席対応について</li> <li>4. 次回所長会議日程について</li> </ol>

## 職員人事

本部内の業務負荷軽減と先を見据えた人材確保・育成の観点から、2022 年度中に 2 名の職員を新規に採用しました。

[新規採用職員]

☆ 松本 由香理 （2022 年 10 月 1 日 採用）

☆ 臼井 結美 （2023 年 2 月 6 日 採用）

## 情報開示について

勤労者協会は情報開示に積極的に取り組むこととしており、事業年度終了時には、各事業の推進結果と財務諸表などを詳細に掲載した「事業報告書」を発行して関係者に配布するとともに、当協会の事務所所定の閲覧場所に常設し閲覧できるようにしています。

また、この事業報告書に基づいた事業推進状況や財務状況については、当協会のホームページ (<http://www.kinnrou.jp> 勤労者協会 検索) においても内容を開示しています。

# 2023 年度事業計画

「実施事業（奨学金貸与事業・講演会事業・調査研究事業）」については、「公益目的支出計画」に沿った内容で実施し、「その他事業（火災共済・総合共済・研修会・福利厚生）」については、相互救済事業（火災共済・総合共済）の維持・発展に向けた実施内容とします。

## 1. 実施事業（公益事業）

事業名	実施期間	実施内容
奨学金貸与事業	全期間	2022 年度で貸与は全て完了しており、引き続き、貸与者からの返済金フォローに努めます。
講演会事業	11 月	開催地を尾道・因島地区とし、以下の通り講演会を開催します。 1. 日時：2023 年 11 月 25 日（土） 【1 回目】13:00～14:30 【2 回目】16:00～17:30 2. 場所：しまなみ交流館（尾道市東御所町 10-1） 3. 講師：米村 でんじろう氏（サイエンスプロデューサー） 4. 規模：聴講者 1,200 名（600 名×2 回）

## 2. その他事業

事業名	実施期間	実施内容
相互救済事業	全期間	勤労者の相互扶助を目的に共済事業を実施します。またこの事業は特別会計を設けて運営し、資金の一部を他の公益事業にも充てます。 1. 火災共済事業を推進し、り災時の経済的負担の軽減を図ります。 2. 総合共済事業を実施し、勤労者の互助の一部とします。
（研修会）	全期間	勤労者の福祉に関する課題や、各種の事業に対する相互理解を得るため、研修会を開催します。
	6 月～7 月	「事業推進研修会」については、開催場所・規模・内容などを検討し、全地区で開催します。
	全期間	役員・職員・所長を対象に実務に直結した内容で研修会を開催します。
（福利厚生）	全期間	1. 勤労者の組織する団体等が行う行事の開催または参加に対し補助を行います。 2. 基準に達している会員及びその家族が、保養所契約をしている施設に保養目的で宿泊した場合、利用料金の一部を補助します。

## 3. マツダスタジアム観戦募集

加入促進活動の一環として、今年度も「マツダスタジアム年間 SS 指定席（6 席）」を購入し、共済加入者（火災共済 50 口以上、総合共済 3 口）に対してホームページで観戦募集を行っていますので是非一度検索して下さい。



ホームページ（[勤労者協会](#)）



## 2023 年度評議員名簿

2023 年 6 月 1 日現在

地 区	氏 名	住 所	所 属
西 部 (大 竹)	濱 本 和 之	広島市廿日市市桜尾 1 丁目 12 番 1 号	サクラオブルフリーディスティラリーユニオン 執行委員長
西 部 (広 島)	西 本 大 祐	広島市西区観音新町 4 丁目 6 番 22 号	三菱重工グループ労連広島地区本部 副 執 行 委 員 長 兼 書 記 長
西 部 (安 佐)	川 辺 久 紀	広島市安佐北区亀山 9 丁目 12 番 30 号	広島交通労働組合 執行委員長
呉 (呉)	桃 林 達 也	呉市川尻町東 2 丁目 14-21	神田ドック労働組合 執行委員長
呉 (呉)	榎 本 聡	呉市西中央 4 丁目 6 番 3 号	株 式 会 社 く れ せ ん 総務部執行役員部長
呉 (東広島)	林 公 彦	東広島市八本松町飯田 2 丁目 7 番 1 号	富 士 機 械 工 業 株 式 会 社 社長室付部長
三 原 (三 原)	古 賀 靖 浩	三原市糸崎南 1 丁目 1 番 1 号	三菱重工交通・建設Iツグ・Iツグ 労働組合 三原支部執行委員長
三 原 (府 中)	西 田 圭 司	府中市鶉飼町 800 番地の 8	北川精機株式会社 人事総務部長
三 原 (庄 原)	小 塩 大 作	庄原市東城町東城 36 番地	ヤマモトロックマシン労働組合 副執行委員長
東 部 (尾 道)	村 上 誠	尾道市向東町 14755 番地	日立造船労働組合 副中央執行委員長
東 部 (福 山)	片 岡 元 昭	福山市箕島町 6280-10	シーケーエス・チューキ労働組合 組合長
因 島 (因 島)	神 野 孝 光	尾道市因島田熊町竹長新開	日立因島生活協同組合 理事長
因 島 (瀬戸田)	前 田 隆 司	尾道市瀬戸田町沢 226-6	内海造船労働組合 執行委員長

## 2023 年度役員名簿

2023 年 6 月 1 日現在

役 職	氏 名	住 所	所 属
理事長 (常勤)	久 保 明	広島市南区金屋町 1 番 17 号 ワークピア広島 5 階	本 部
副理事長 (非常勤)	津 川 信 次	呉市昭和町 2 番 1 号	I H I 労 連 呉 支 部 執 行 委 員 長
理 事	金 口 巖	広島市中区基町 10 番 52 号	広 島 県 議 会 議 員
理 事	谷 口 英 男	広島市西区観音新町 4 丁目 6 番 22 号	三菱重工グループ労連広島地区本部 執 行 委 員 長

理事	阿久根孝	呉市昭和町2番1号	JMU 呉労働組合 執行委員長
理事	岩田和洋	三原市糸崎南1丁目1番1号	三菱重工グループ労連三原地区本部 副執行委員長兼書記長
理事	藪本敬士	府中市元町83番地1号	北川鉄工所労働組合 中央執行委員長
理事	乗越勝浩	尾道市長者原2丁目165-34	尾道プレス工業株式会社 常務取締役
監事	小平祥彦	広島市中区東白島14番15号 NTTクレド白島ビル7階	広島総合法律会計事務所 税理士
監事	八木澤賢士	広島市中区八丁堀15番8号	三菱UFJ信託銀行広島支店 支店長
監事	橋本晋治	広島市安芸区船越南1丁目6番1号	日本製鋼所労働組合広島支部 事務局長

## 2023年度事務局体制

2023年6月1日現在

所 属	役 職	氏 名
本 部	事務局長	中本 哲司
	主 査	臼井 裕子
	主 事	平原 久美子
	職 員	松本 由香理
	職 員	臼井 結美
西部支所 (大竹・廿日市・広島)	所 長	前原 伯史
呉支所 (呉・東広島・竹原)		中岡 賢吾
三原支所 (三原・府中・庄原・三次)		高橋 治男
東部支所 (尾道・福山)		土生 利正
因島支所 (因島・瀬戸田)		江藤 浩介

安心づくりのパートナー

# 勤労者協会

## 2022 年度事業報告書

2023 年 6 月 1 日発行

一般財団法人広島県勤労者福祉推進協会

〒732-0825

広島県広島市南区金屋町 1 番 17 号

TEL (082) 261-4208

Fax (082) 263-7586

E-mail:kinnrou@cello.ocn.ne.jp

ホームページ <http://www.kinnrou.jp>



勤労者協会

検索



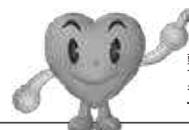
お問い合わせ・  
お申し込みは

一般財団法人

広島県勤労者福祉推進協会

E-meil : kinnrou@cello.ocn.ne.jp

ホームページ : <http://www.kinnrou.jp>



勤労者協会  
マスコット  
キャラクター：  
すこやかくん

●本部	〒732-0825 広島市南区金屋町 1 番 17 号 ワークピア広島 5 階	☎0120-276-701	☎(082) 261-4208	FAX (082) 263-7586
●西部支所	〒732-0825 広島市南区金屋町 1 番 17 号 ワークピア広島 5 階	☎0120-276-702	☎(082) 263-8005	FAX (082) 263-7586
●呉支所	〒737-0045 呉市本通 1 丁目 2 番 15 号 四方ビル内	☎0120-276-703	☎(0823) 23-0902	FAX (0823) 25-7520
●三原支所	〒723-0015 三原市円一町 2 丁目 1 番 1 号 三原リージョンプラザ内	☎0120-276-704	☎(0848) 63-5863	FAX (0848) 62-0114
●東部支所	〒722-0045 尾道市久保 1 丁目 10 番 3 号 尾道市労働センター内	☎0120-276-705	☎(0848) 37-3435	FAX (0848) 37-3257
●因島支所	〒722-2323 尾道市因島土生町 2562 番地 1 ホテルみやじま内	☎0120-276-706	☎(0845) 22-1155	FAX (0845) 25-6155